

日本福祉学習支援学会・災害科学国際研究所ジョイントセミナー（2026/10/16）

テーマ：災害と福祉をつなぐ：避難支援・合理的配慮・インクルーシブ防災

会場：東北大学災害科学国際研究所

URL：<https://jselas.or.jp/>（学会公式ウェブサイト）

東北大学災害科学国際研究所（IRIDeS）において、日本福祉学習支援学会とインクルーシブ防災学分野によるジョイントセミナーが開催されました。福祉と防災という異なる研究領域の専門家が集まり、障害のある人々への支援、避難所の運営、災害関連法制度、合理的配慮、インクルーシブ防災の課題について、研究発表と意見交換を行いました。

学会理事長の坂本雅俊氏が開会の挨拶を行い、セミナー全体の司会進行を務めました。開会にあたり、日本福祉学習支援学会会長の北川慶子氏（インクルーシブ防災学分野・特任教授（客員））と、インクルーシブ防災学分野のセバスチャン・ボレー教授が挨拶をしました。

発表後には「災害と福祉―被災地の事例を通して」をテーマに全体討議が行われ、最後に学会理事長の坂本雅俊氏が閉会の挨拶を行いました。

研究発表・特別講演は以下の通りです。

安田 誠人（花園大学）

重度障がい児に対する支援について―専門職者間のコミュニケーションから考える―

上尾 宥太（福岡市役所・社会福祉士）

運営支援で見た災害時の避難所の実際

北川 慶子（佐賀大学名誉教授）

災害法制成立過程から捉える要支援者支援の継続の課題

倉橋 弘（大和大学）

災害時における合理的配慮について―社会福祉法制度の視点から―

ボレー・セバスチャン、朴 慧晶（東北大学）

避難所から考えるインクルーシブ防災 ― 課題と可能性 ―

朴 慧晶（東北大学）

超高齢社会とインクルーシブ防災

参加者数は比較的少規模でしたが、各発表からは多様な視点、具体的な事例、研究上の論点が提示され、分野横断的な学びの機会となりました。とりわけ、福祉の専門知と災害研究の知見を結びつけることの重要性が共有されました。

個々の発表は相互に補完し合う内容であり、今後、共同研究や論文・出版物として発展させる可能性も感じられました。今回の交流を契機として、福祉とインクルーシブ防災をめぐる継続的な議論と協力が期待されます。



ジョイントセミナー参加者（当研究所にて）

文責：ボレー・セバスチャン（インクルーシブ防災学分野）